

施設名	美保関灯台、美保関灯台ビュッフェ								
所在地	島根県 松江市								
管理官署	国(海上保安庁)								
施設種類	建築								
施設概要 (明治期との関連含む)	島根半島東端の地蔵崎に位置する。底部直径5.7m、半円形付属舎付の円形灯塔を砂岩の布積で築き、その上にガラスと青銅製ドーム及び斜骨子より構成される灯籠をのせ、総高は14mとする。山陰の海運振興に寄与し、地域のシンボルとして今も親しまれている。(文献2より抜粋)		 <p>出典: 燈光会HP</p>						
建築時期	明治中期	時期詳細	明治31年→昭和10年改名(灯台)、明治31年→昭和47年改造(ビュッフェ)						
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	灯塔は石造である。灯塔は荒々しい石の肌を持つ美しいもので、当時の姿を残している。明治32年7月、勅令第342号をもって「浜田」と「境」の両港が開港場の指定を受け外国貿易の活発化に伴い、経ヶ岬・美保関・出雲日御碕の各灯台が設けられた。灯台に隣接した旧事務室、宿舎は払い下げられて食堂・売店に改造されているが、外観は明治そのままの佇まいを損なわないよう細やかな配慮がなされている。(文献3より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○			文化財 (文化庁)	登録有形文化財 (建造物)	近代化産業遺産 (経産省)	○	世界遺産 (ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	文献1: 土木学会 日本の近代土木遺産(改訂版) 文献2: 文化遺産オンライン (http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/201859) 文献3: 燈光会 (http://www.tokokai.org/archive/history/18.html)								
管理者等のHP (URL等)	燈光会 http://www.tokokai.org/archive/history/18.html								